

研究テーマ：高速ネットワークを使った遠隔映像編集環境の実証（1/2） （プロジェクト番号JGN-G12005）

研究機関： エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
パイオニア株式会社、株式会社キューテック

研究の概要：ローカルでテスト運用をおこなっていた遠隔映像編集環境をギガビットネットワークに接続し、実環境において遠隔映像編集プラットフォームの性能を評価する。また実際のDVDタイトル制作作業を行い、工程の効率化を実証する。

（１）遠隔映像編集プラットフォームの有効性の実証

・ロスレス圧縮技術の有効性の実証

映像素材共有機能を遠隔２地点間におけるDVD制作者に実際に使用してもらい、映像素材の共有時におけるロスレス圧縮技術の適用による効率化度合い、及びロスレス圧縮技術の圧縮性能を評価する実験を行う。

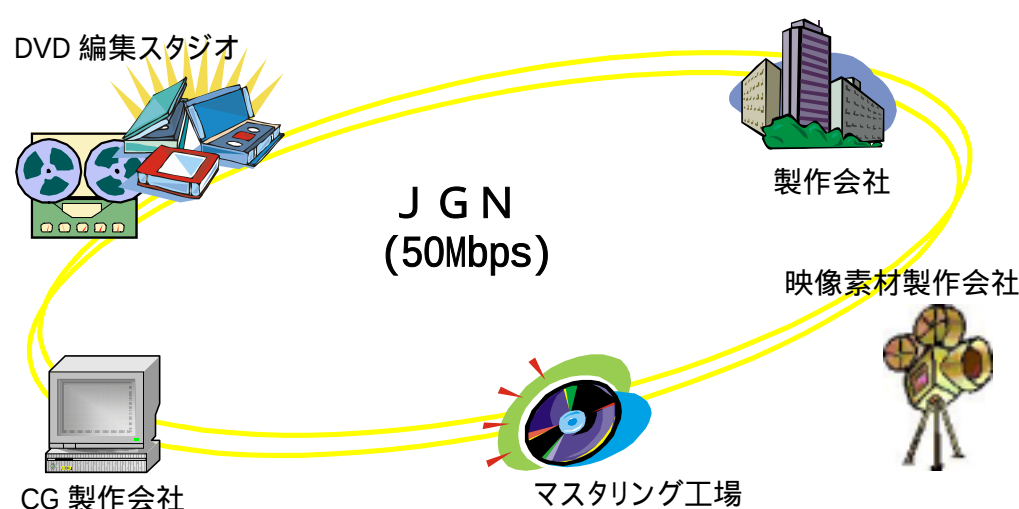
・アダプティブ映像再生技術の有効性の実証

同期再生機能を遠隔２地点間におけるDVD制作者に実際に使用してもらい、アダプティブ映像再生技術の適用が、効果的な作業遂行に有効であるかを検証し、ディスクレコーダ同期再生方式とMPEG2 CODEC方式の有効な使い分けの指針を明らかにする実験を行う。

（２）DVDタイトル制作効率化の実証

・DVDタイトル制作工程効率化の実証

遠隔映像編集プラットフォームを実際にDVD制作者に利用してもらい、DVDタイトル制作における各工程の効率化の向上を検証する実験を行う。



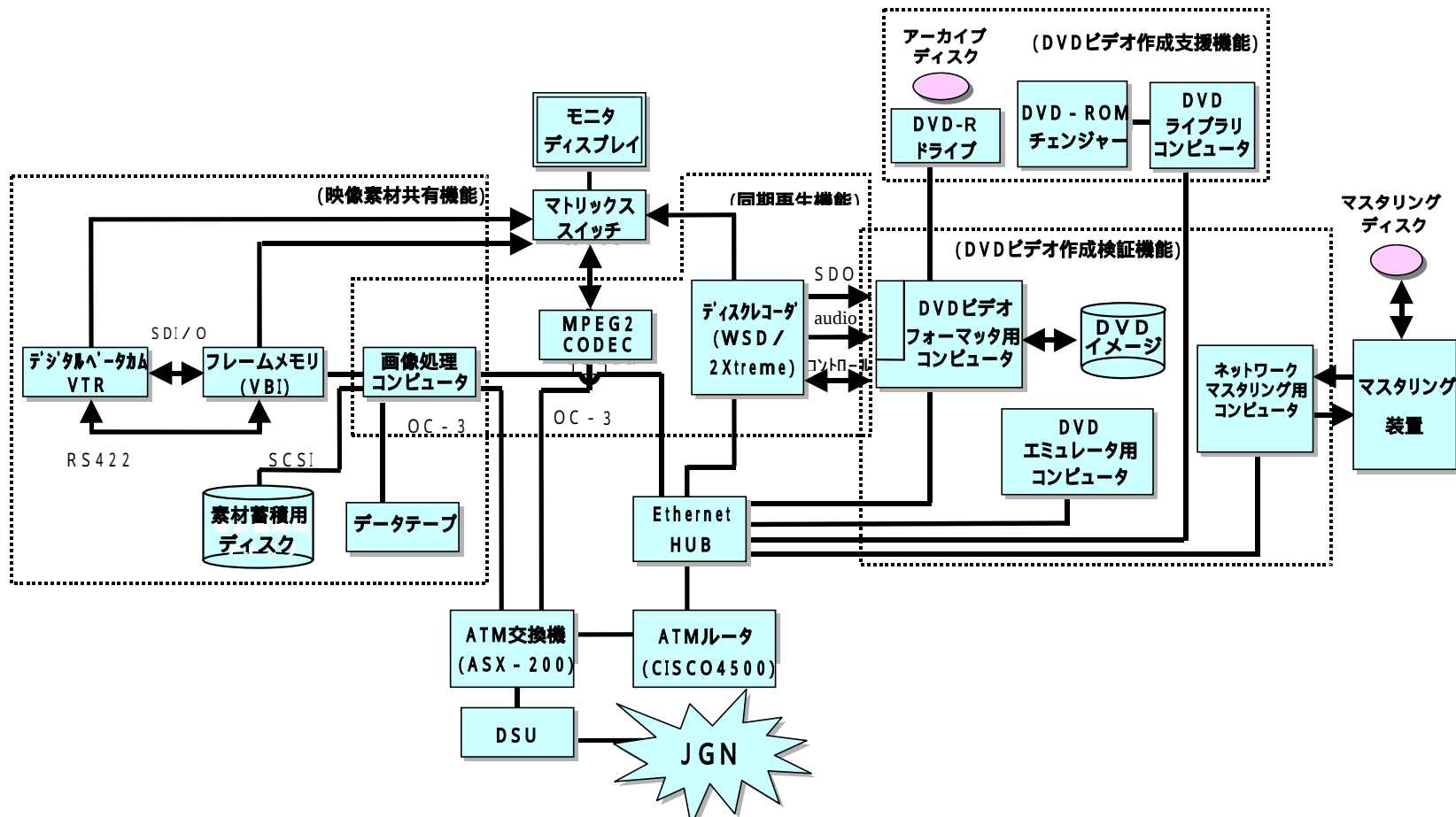
研究の目的：本プロジェクトの目的は、超高速ネットワークを活用して、各地に分散する高度映像制作施設間でリアルタイムに、共同でコンテンツ制作を可能にする遠隔映像編集環境を実現することにある。各地に分散して所在する高度映像制作施設の有機的連携・遠隔協調を可能とすることにより、今後の地域に根ざしたデジタルコンテンツ産業の振興に資することを目指すものである。

JAPAN GIGABIT NETWORK

研究テーマ：高速ネットワークを使った遠隔映像編集環境の実証（2/2）
（プロジェクト番号JGN-G12005）

研究機関：エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
パイオニア株式会社、株式会社キューテック

実験機器構成：



研究開発成果：今回の開発および実証実験を通じて、コンテンツ産業の本格的なネットワーク利用時代の一形態を提案することができた。本開発の成果は、映像素材などの電子納品、完成したDVDイメージの納品（マスタリング工程への投入）など、利用できる部分（利用者からの評価の高かった部分）から実用化していけると考えられる。

プロジェクトのアピールポイント：DVDコンテンツを作成する実際の現場であるDVD編集スタジオ、CG製作会社、マスタリング工場等を結び、実際にDVDタイトルを作成した点。

プロジェクトの反省点：レビューやエミュレーション、修正など、協調して作業する工程や場面では高い評価が得られたが、納品などの映像素材データの転送については、50Mb/sのATM回線を用いても、転送時間がかかることから高い評価は得られなかった。

今後の方策：マスタリング工場等のローカルな場においてDVD製作システムを引き続き設置し今後も実験を進め、実用上のノウハウを蓄積するとともに、ネットワークコストの低下を見極めながら積極的に利用を進める予定である。